学校番号	408

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	発展古典	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高等学校　精選古典探究」　（第一学習社）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業中は三つの対話（教材との対話・自分との対話・他者との対話）に取り組みましょう。
・失敗や間違いこそ大事な学びです。普段の授業は練習試合、一緒に学ぶクラスメイトはライバルであり、チームメイトでもあります。協働しながら、学びを深めていきましょう。
・学んでいったことから、更に自ら問いを立てながら、学びを広げていきましょう。読書は皆さんの世界を広げるための大きな手段となります。
・授業の中のみならず、皆さんの周りにある普段の「言葉」から意識を向けてみましょう。
・この講座は受講生の発表・討議で進むので、主体的な参加が必須である。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
我が国の歴史の中で継承されてきた言語文化の持つ価値を認識した上で、伝統的な言語文化に対する理解を深める。
【思考力、判断力、表現力等】
複数の文章や資料を関連づけたりして、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。
【学びに向かう力、人間性等】
国語の学びを通して、言葉の持つ価値への認識を深め、自らの言語感覚を磨いた上で、読書に親しみながら、他者との関わりの中で、ものの見方や感じ方、考え方を深めようとする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	我が国の歴史の中で継承されてきた言語文化の持つ価値を認識した上で、伝統的な言語文化に対する理解を深めている。	複数の文章や資料を関連づけたりして、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができている。	国語の学びを通して、言葉の持つ価値への認識を深め、自らの言語感覚を磨いた上で、読書に親しみながら、他者との関わりの中で、ものの見方や感じ方、考え方を深めようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	単元一 古典作品を読み解く道具 ［教材］	a：翻刻の仕方、注釈の仕方などを理解し、使うことができ、古典作品の読み解き方について理解を深めている。 c：言葉の持つ価値への認識を深め、他者との関わりの中で、自分のものの見方や感じ方、考え方を深めようとしている。	定期考査		ミニレポート
	単元二 古典作品を読み解く1 ［教材］『源氏物語』「桐壺」	a：古典に用いられる語句の意味や用法を理解したり、語句の量を増やし語彙を豊かにしたりし、表現の特色について理解を深めている。 b[読]：内容や構成、展開などを的確に捉えるとともに、作品の成立背景をふまえて内容の解釈を深め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができている。 c：言葉の持つ価値への認識を深め、他者との関わりの中で、自分のものの見方や感じ方、考え方を深めようとしている。	定期考査	発表・討議 レポート 定期考査	発表・討議 レポート
二学期	単元三 古典作品を読み解く2 ［教材］『源氏物語』「若紫」	a：古典に用いられる語句の意味や用法を理解したり、語句の量を増やし語彙を豊かにしたりし、表現の特色について理解を深めている。 b[読]：内容や構成、展開などを的確に捉えるとともに、作品の成立背景をふまえて内容の解釈を深め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができている。 c：言葉の持つ価値への認識を深め、他者との関わりの中で、自分のものの見方や感じ方、考え方を深めようとしている。	定期考査	発表・討議 レポート 定期考査	発表・討議 レポート
	単元四 古典作品を読み解く3 ［教材］『源氏物語』「葵」	a：古典に用いられる語句の意味や用法を理解したり、語句の量を増やし語彙を豊かにしたりし、表現の特色について理解を深めている。 b[読]：内容や構成、展開などを的確に捉えるとともに、作品の成立背景をふまえて内容の解釈を深め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができている。 c：言葉の持つ価値への認識を深め、他者との関わりの中で、自分のものの見方や感じ方、考え方を深めようとしている。	定期考査	発表・討議 レポート 定期考査	発表・討議 レポート
三学期	単元五 古典作品を読み解く4 ［教材］『源氏物語』「御法」	a：古典に用いられる語句の意味や用法を理解したり、語句の量を増やし語彙を豊かにしたりし、表現の特色について理解を深めている。 b[読]：内容や構成、展開などを的確に捉えるとともに、作品の成立背景をふまえて内容の解釈を深め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができている。 c：言葉の持つ価値への認識を深め、他者との関わりの中で、自分のものの見方や感じ方、考え方を深めようとしている。	定期考査	発表・討議 レポート 定期考査	発表・討議 レポート

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※年間の各領域時間数

・読むこと　…　（　７０　）時間